

区分・種別	県指定史跡		
名称	かわかみじんじゃこふん 川上神社古墳		
所在地	東温市南方		
所有者	川上神社	管理団体	
指定年月日	昭和25年10月24日		
解説	<p>川上神社裏にある巨石を用いた方墳である。墳丘は長さ39m、幅22m、高さ5mほどで同一墳丘内に2基の横穴式石室がある。</p> <p>東側の石室は、南に開口した横穴式石室で、全長8m、^{げんしつ}玄室の長さ2.6m、幅1.8m、高さ2.1mの規模で、^{せんどう}羨道部は積み石によるものである。玄室奥壁及び側壁は巨大な一枚石を使用した造りとなっている。西側の石室は封鎖され規模等の詳細は不明であるが、かつて開口され、玄室内に4人分の人骨が発見されたと伝えられている。石室からは須恵器、金銅製馬具、金銅製大刀、玉類等が出土している。この古墳の特筆すべきことは、石室用材の巨大なことと、副葬品に鞍金具をはじめ^{ぎょうよう}杏葉、鏡板などの馬具類の豊富なことであろう。</p>		

